



また、2当の違反の有無を見ると、2当だからといって自転車側に違反がないという訳ではない。2当で全く違反がないのは3割程度で、安全運転義務違反(安全不確認)や交差点安全進行義務違反、安全運転義務違反(動静不注視)が多い(図3)。

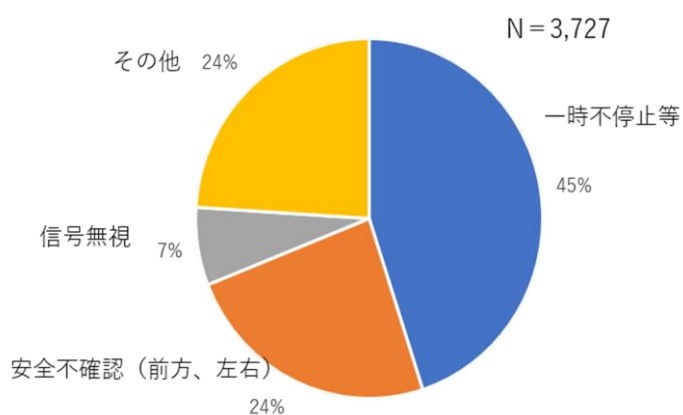


図2 中高生自転車事故違反構成率(2017年～2019年累計/出会い頭事故/通学等/1当)

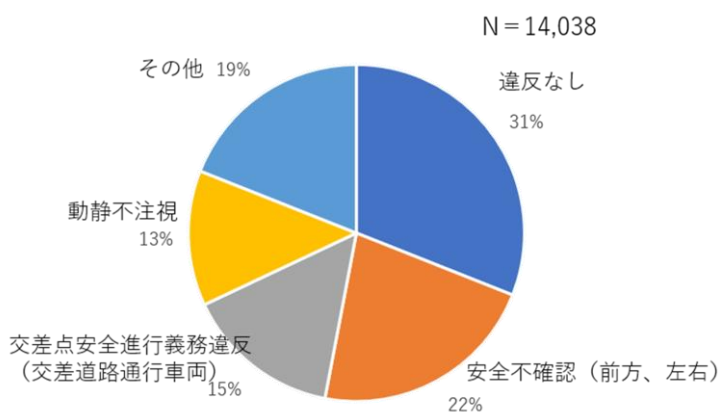


図3 中高生自転車事故違反構成率(2017年～2019年累計/出会い頭事故/通学等/2当)

## ■ 安全運転に生かす

事故の原因は見通しの悪い交差点であるにもかかわらず、Aさんが十分に減速せず、また、交差道路の安全を目視やカーブミラーで確認せず進入したこと、BさんもAさんと衝突する前、Bさんから見て右方からの車が停止してくれたことから、左方からやってきたAさんの車を確認せず進行したことである。

双方ともほぼ毎日通行する道路であったことから、いつも自転車や車は来ないといった思い込みがあったかもしれないし、Bさんにしてみれば、止まってくれた右方の車に遠慮して早く渡らなくてはどう気持も左方の安全確認を疎かにさせたのかもしれない。

このように、出会い頭の事故は自転車の関与する事故類型では最も多くなっている。交差点手前では確実に一時停止をし、交差する道路からの車両等の接近を目視やカーブミラーなどで確認し、安全に進行しよう。自動車の運転者は特に見通しの悪い信号機のない交差点に接近する際は、自車が優先道路を走行中であったとしても、飛び出してくる車両等に注意し、衝突を回避できる速度に減速して通行しよう。

以上